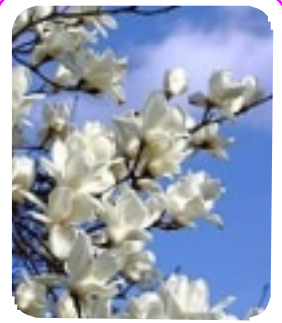


# ぎやらりー わ

NO.74

2016年4月号

編集・発行 NPO法人グループわ (小畑 浩昭) ホームページ <http://www.wa-net.jp>  
〒651-1102 神戸市北区しあわせの村シルバーカレッジ内 TEL.078-743-8101 FAX743-3830



●村内散歩  
もくれん(四方久幸撮影)



900本の梅が満開の花山梅林と手入れに入るメンバー  
写真左は梅の苗を植える花山小の6年生



花山梅林会

## 卒業祝い小6と梅植樹

花山梅林会(磯野彰夫代表=生7)は3月11日朝、北区の花山小で卒業記念植樹を隣接の梅林と正門近くの斜面で行い、約900本になりました。今年で10回目。梅林会の18人はピンク、赤、白の梅の苗木16本を用意。6年生80人は急斜面に足を取られながらも、根を広げて穴に置き、土をかぶせ、苗をゆすって土を浸透させ、最後に水をやりました。ある女兒は「自分たちが植えた苗が丈夫に育ち、10年後には見事な成木になり、きれいな花を咲かせるよう願っています。楽しみです」と話していました。

梅林会は平成17年に発足、北区を中心に、西区、灘区などの約35人が加入。花山小で当時の校長に「梅60本が枯れ、雑草も伸び放題」と聞き、活動が始まったそうです。このほかに小学生やPTAと梅の実収穫、梅ジャム作り、雑草封じのカボチャの栽培をしています。梅林会は3月13日には観梅会を開き、近くの住民らを含め約50人が見事な梅を楽しみました。※活動に興味がある方は徳原尚世までご連絡下さい=Tel583-6761。(取材・写真 広報 永野知己)



ボランティアの  
輪をひろげよう

74  
号の  
文  
庫

### 水の科学博物館〈わ〉の業務スタート 2面

グループわ設立20周年に向けて	3面	ボラの心 活動レポート	7・8面
東北交流の記録・〈わ〉功労賞	4面	カレッジだより 卒業式 入学式	9面
ボラ最前線 (SCクラブ大正琴)	5面	イベント予定 4月~8月	10面
特集 ボランティア日記拡大版	6面	WAからのお知らせ	11面

# 水の科学博物館〈わ〉の業務スタート

## ドキドキ緊張した まずは順調に

グループわ が受託した兵庫区の「水の科学博物館」での業務が4月1日、スタートしました。初日のスタッフは庶務が中村公一さん(美14)、受付案内が見上昌子(福19)、大里翠(福19)、誘導警備が清水英暢(美12)、岡田利勝(食20)さんの計5人。本部からも小畑理事長、吉本副理事長、同館担当の宮田幸長さんが参加。8時45分からミーティング。川口副館長が「きょうは団体予約はありません。あすは〈南極の氷を体験しよう〉というイベントがあり、これに備え1階シアターで会場づくりをします。思わぬ事故が起きてもまず、事務所に相談してください。バタバタのスタートで申し訳ないが、がんばりましょう」と挨拶。スタッフ5人は初めての仕事でかなり緊張した顔で持ち場に付きま



庶務の中村さん

した。庶務は毎日1人、受付案内は同2人が業務にあたり、午前8時45分から午後5時まで。誘導警備は同2人で業務は午前8時から午後6時までです。

庶務の仕事は団体見学者の予約受付、見学先の浄水場や誘導警備への連絡、見学者の食事場所の提供など。中村さんは電話の対応に大忙し。団体予約受付が22件。うち20件は小学校。このほか、桜の開花状況の問い合わせがあったとのこと。

受付案内では、午前9時すぎ、試みに動かしたアクア Cutter(高い水圧でベニア板を象の形に切り抜く)が予期せぬ出来事で途中、動かなくなり、出入りの電気商にきていただきました。Cutterを製造した川重の技術者に電話で指示を仰ぎ、2時間後に応急復旧、やれやれ。3Dシアターは順調に動き、館内放送も滑らかでした。見上さんは「平静を装っていたけれど、内心はドキドキ。仕事は10項目以上あり、それぞれマニュアルがある。鍵もたくさんある。大変ですが、なんとかこなせそう」と話していました。

誘導警備は門の開け閉め、機械設備の開錠・施錠、



にこやかに応対する受付案内の見上、大里さん(左から)

料金徴収、車両のチェックなどを担当。清水さんは「さくらフェア開催中のきょうは入場料無料。その分だけ楽。でも、普段は割引制度があり、その条件が複雑。現金なので細心の注意が必要でしょう」と。

4月2日は〈南極の氷〉イベントがありました。定員の100人をかなり超え、予約券のない方にも入っていただきました。2日は晴れ上がって暖かく、花見の方もたくさん来られて終日、大賑わいでした。

3月20日から4月10日までのさくらフェア



警備の清水さん(左)と岡田さん

開催中の土、日曜日は、臨時にスタッフを増やし、〈わ〉本部理事らも応援に駆けつけました。

これに先立ち、同館スタッフ応募者への説明会と面接を2月23日と26日に実施。スタッフ応募は96人ありましたが、61人でスタート。3月11日には同館でローテーション会議。4、5、6月の各担当ごとの当番の日を決めました。3月15日、24日の2回、同館で実地研修。2回では心もとない人は1、2日に科学館に見学に来て、勉強していました。(取材・写真 広報 永野知己)

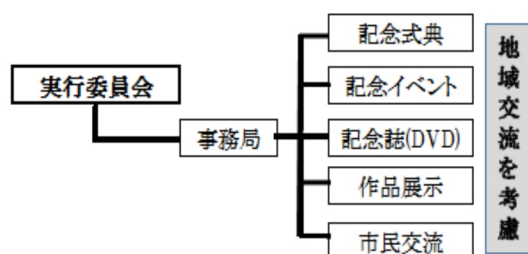
# グループわ設立20周年に向けて

## これまでの検討経過と 実行委員会の発足に向けて

2015年12月に理事7名による準備委員会を発足、基本構想の検討に着手しました。

12月末には、会員皆様に広くアイディア募集も行い、20周年記念事業に向けた盛り上げと、全員参加での企画立案を目指しています。

今年の6月の実行委員会の発足に向けて、構想案を検討していますが、そのイメージは下記の通りです。



## 記念事業の概要…アイディアの羅列

### ステージパフォーマンス

- ・カラオケ大会・素人演芸会・老人の主張
- ・シニアファッションショー・クラブ紹介
- ・ピンゴゲーム・演奏会・みんなで歌おう

### スポーツイベント

- ・グラウンドゴルフ(区会対抗) ・卓球
- ・テニス
- ・パターゴルフ
- ・ダーツ選手権
- ・輪投げ大会

### ゲーム他

- ・囲碁・将棋
- ・麻雀

### ハイキングなど

- ・六甲山記念ハイキング ・野鳥探索会
- ・しあわせの村自然散策会

### ふれあいイベント

- ・うたごえ喫茶・餅つき大会・大茶会
- ・写真屋さん・区会・部会ダンスパーティー



### 作品展

- ・絵画・陶芸
- ・俳句・詩集
- ・絵手紙・写真
- ・20周年記念ポスター・クラブ紹介ポスター



### バザール

- ・記念グッズ販売 ・バザー
- ・クラブ&区会出店

### 標語他募集

- ・標語・スローガン・ポスター
- ・作文など

### 出版企画

- ・記念誌に変えてDVD化を検討
- ・音楽系クラブのCD化

### その他

- ・仮装行列・神戸ぴかぴか隊
- ・わらい届け隊などのパフォーマンス

※記念事業資金の検出は、実行委員会の中で検討する。【サポート募金など】

## 【参考】10周年記念事業の取り組み

本部役員を中心に準備委員会を設置、基本構想の検討と実行委員会の編成に着手し、最終的には32名で実行委員会を編成。

記念事業の概要は以下の通りです。

1. 意義・目的の確認
2. 実施時期  
2007年9月1日～2日の2日間とする。
3. 実施上の基本的な考え方の確認
4. 実施事業内容等を決定
  - (1) 記念イベント・パフォーマンスの開催
  - (2) 記念誌の発行
  - (3) 市民参加の地域交流事業
  - (4) パネル展示の実施
  - (5) 標語の募集

(20周年記念事業準備委員会)

## 東北交流の記録を図書室へ

写真250枚・図書・冊子・DVDなど

グループわが5年間にわたって続けてきた東北交流活動。この間に撮り溜めた記録写真は5千枚以上、動画も10時間分はあります。図書・冊子・地図・子供たちのイラスト類も数十点。これらを整理して一部を図書室に寄託しました。4月から公開しています。



すのでご利用ください。(場所は図書室右奥の書棚)

東北交流活動は、グループわの会員や卒業生、現役の皆さんの協力で続けてこられた事業なので、その成果を還元することも大切だと考えています。資料類は散逸を防ぎ、皆さんにも見てもらえるようにカレッジ事務局と相談、図書室に展示することにしました。

写真はほとんどA3判サイズで、計250枚。第1次隊(2011年7月)から第6次隊(2015年7月)までの交流風景や津波で破壊された建物、仮設住宅、子供たちの表情を記録したものです。東北支援報告会や東北物産販売風景、子供たちを神戸に招いた時の映像、DVDもあります。メンバーの感想文集、広報誌「ぎゃらりー わ」のコピーも展示しています。写真の内訳は第1次隊の記録(2011年7月)30枚。第2次の記録(同年10月)18枚。第3次の記録(2012年7月)55枚。第4次の記録(2013年7月)18枚。第5次の記録(2014年7月)40枚。第6次の記録(2015年7月)35枚。支援報告会、東北物産販売の記録など30枚。阪神大震災のカレッジ風景など79枚となっています。

書籍類は▽東日本大震災1か月の記録(神戸新聞社)▽闘う日本(産経新聞社)▽東日本大震災(毎日新聞社)▽3.11東日本大震災(河北新報社)▽大津波襲来(三陸河北新報社)▽ふるさと石巻の記録(三陸河北新報社)▽まげねっちゃん(青志社)▽2011東日本大震災写真集(南三陸町)▽震災ボランティア奮闘記(グループわ発行)など12点です。

(監事:南形徹)

東日本大震災5年の3月11日を前に、グループわは、被災地訪問でお世話になった女川町役場など、関係19か所に、阪神淡路大震災の時に作られた曲「しあわせを運べるように」の楽譜とお礼の手紙をお送りしました。

女川小学校、第一、第四保育所、名取市の関上小学校、増田保育所、名取市社協、女川社協などです。被災地訪問は第1次から第6次まで5年間に6回。昨年(2015年)の第6次で見ても、被災地の復興は遅々としています。

大津波に襲われた地域は、土壌の嵩上工事が進む地域もありますが、堆積物は片付いているものの、広大な空き地が広がる地域もあります。



とくに、原発事故が起きた福島県の沿岸部は復興から取り残されています。〈わ〉会員の皆さまには、このことを心に留め、今後の東北交流にお力添え下さるようお願い致します。

## 功労賞に1人・3団体決まる

グループわの28年度功労賞は、4月8日の理事会で、個人1人・団体3グループに決まりました。

5月21日の〈わ〉の総会で表彰式が行われます。

### 【功労会員】

◆小嶋 直(音6) = KSC男声合唱団の指揮者として11年に亘り老人施設訪問や合唱団を献身的に指導。訪問活動は月に1回程度

### 【功労グループ】

◆KSC手話ソング同好会(北島輝子代表) = 福祉施設・児童館など手話表現の輪を広げる活動10年。楽しく明るくがモットー

◆戦争の語り部グループ(渡辺寛治代表) = 子供たちに昭和20年の神戸空襲を中心に、戦争の悲惨さを伝え、平和の尊さを訴え10年。

◆北区会”へ 音記号”(下村玲子代表) = 医療施設で長期療養中の患者や来所者を対象に童謡唱歌・なつかしの歌謡曲・手品など活動12年になります。

(広報・藤田健一)

東北交流関係者に  
お礼の楽譜と手紙を送付

# 懐メロ大合唱 心に響く



SCクラブ大正琴

## ボランティア最前線

松風騒ぐ 丘の上 古城よ独り  
何俣ぶ 栄華の夢を 胸に追い  
三橋美智也が歌って大ヒットした「古城」。「みなさん、お待ちかねの歌。歌いなれてお上手ですね」。SC大正琴クラブの代表・前田仁子さん(福11)が声をかける。歌い終わるとデイサービス利用のお年寄り

は一斉に拍手。両手を突き上げて「イエーイ！」と氣勢をあげ、ニコニコしています。

SCクラブ大正琴の「サクラ 長田」でのボランティア活動に同行、話を伺いました。2月24日午後、前田代表、山本麗子(音12)、宮崎律子(一般)、浅田紀美子(生13)、山口延江(食9)さんの5人が参加。この施設にはこの2年半、毎月2回、大正琴の伴奏で利用者と楽しく歌っています。利用者は5人を見て「ベストメンバーやな」。人間関係が出来上がっています。

この日は「昭和20年代の流行り歌」と題して利用者31人と一緒に19曲を歌いました。途中、「金色夜叉」の紙芝居、休憩をはさんで、手話を交えての「ふるさと」などを膝の上に手を置き、足でリズムをとって、大きな声で歌っていました。

春日八郎の「お富さん」、大津美子の「ここに幸あり」、中曾宗美樹の「川は流れる」などみなさん、よくご存じの歌ばかり。「歌い出したら思い出すよ」。歌詞カードを手にはるか遠い昔を懐かしむようでした。



サクラ 長田のデイサービス利用者

「これは持ち歌」とマイクを取り、前に出て朗々と歌う男性も。前田代表は歌詞カードを用意。「青い山脈の山は六甲山という説が有力」などと各曲に短い説明を付け、世相にも触れます。紙芝居「金色夜叉」では「来年の今月今夜のこの月を僕の涙で曇らせてみせる」のヤマ場では皆さん、ちょっぴり、しんみり。熱海の海岸で婚約者のお宮に裏切られた間寛一のセリフです。「私、もう少し顔がよかったらいいんやけど」に「そんなん、わかっとる」。「ええ、どういう意味」に「決まっとる。ええ女や」と男性が切り返す。漫才の掛け合いのよう。大正琴のスタッフとお年寄りが寄り添い、あっという間の90分。「また来てね」「また来るよ」で終了しました。施設の管理者、金城浩子さんは「午前中はリハビリ。午後は外部講師を招いてのレクレーションが中心。大正琴の人気は高く、大変助かる」と話していました。

### クラブ員12人、月に10回活動

SCクラブ大正琴 平成24年結成。クラブ員12人。高齢者福祉施設やデイサービスへの友愛訪問、小学校などで出前教室を開いている。月に約10回活動。

大正琴は、大正時代に流行った日本の家庭楽器。哀愁味を帯びた音色、響きが特徴。木製の中空の胴に、2~12本の金属弦を張り、簡単な鍵盤を備える。鍵盤を左手で押さえ右手のピックで弾く。初心者でも取り組みやすい。(取材、写真 広報・永野知己)

## ボランティア日記拡大版

### 須磨一ノ谷プラザで楽しく！

須磨一ノ谷プラザの朝は、午前9時に「おはようございます！」の元気の良い挨拶が始まります。予約した人々が続々と来館し、一挙に賑やかになります。

当番のスタッフは、それまでにすばやく本日の予約を確認して掲示板に記載し、照明を付け、カーテンを開け、各部屋やトイレをチェックしてから、玄関のドアを開けます。すでにドアの前で待っている人がいることもあります。

予約者と話しながら利用料金をいただき、領収書を発行します。各部屋ではそれぞれ準備を開始し、その準備している音が溢れる中、日誌などに眼を通します。

利用者は地域の人たちの利用もありますが、KSCのOBが多く、グループで利用しています。

4つの会議室は麻雀、謡曲、会議、踊り、絵画など、3つの和室は謡曲、会議、三味線、自彊術、踊りなど、最も広いホールは踊り、ギター、フラダンス、謡曲、太極拳などと様々な目的に利用されています。2月18日は麻雀、踊り、フラダンス、囲碁、チェロ、味噌づくりと利用目的はバラエティに富んでいました。



利用時間は午前には9時から12時まで、午後は13時から17時まで、夜間（土曜のみ）は18時から21時までであり、特に麻雀は9時から17時までのケースが多く、目一杯利用されています。予約受付もスタッフにとって重要な業務です。特に電話対応の場合は、予約日や部屋などを間違わないよう何度も確認を行っています。



また、初めての人には部屋の様子、大きさなど施設を詳細に説明して、利用の便宜を図っています。

玄関横の受付には、各部屋から楽しんでいる様子が音で伝わってきます。麻雀のパイの音、演歌、ギター演奏など。特にギター演奏はBGM代わりに楽しんでいます。

午後5時には、次回を確認し合いながら利用された皆さんが楽しかった雰囲気、「ありがとうございました！」の言葉を残して帰って行くのを見送ります。

その後、玄関ドアを閉め、各部屋の確認、料金のまとめ、日誌の記載などを行って、一日が終わります。

【皆さまのご利用をお待ちしています。低料金で駐車場もあります。またスタッフも募集中です。】

（一ノ谷プラザ当番：岡本紘一：生18）

### 滝谷グループホームで 寄り添いボランティア！

滝谷ホームは、長田区滝山町にある小規模(定員5人)な知的障害者の自立支援施設です。障がい者が市民の1人として地域に根差した自立生活をめざし共同生活をしています。いわば障がい者の我が家。

ホームの当番はウイークデーは夜8時から朝の8時30分まで、入居者を見守り、寄り添います。昼間は施設の職員が掃除、朝夕食の準備をします。



午後8時に当番と 長田区の住宅街にある滝谷ホーム交代。この日の勤務は土曜日のため、3人は自宅に帰り、2人の世話をしました。2人分の弁当をスーパーで買い、夕方5時前に滝谷ホームに到着。風呂の準備を終えた頃に、順次2人が元気に「ただいま」と帰宅しました。入居者は風呂に入った後、弁当を電子レンジで温めて夕食をとり、その後は洗濯など。リビングでテレビを見たり、おしゃべりをします。夜の10時には自分の部屋に引き上げます。私も戸締りと電子カーペット・エアコンのスイッチを切った後、宿直者用の部屋に入り、しばらくして眠りにつきました。

翌朝は5時に起床、リビングの点灯・湯沸かし器のセットなど、朝食の下準備。入居者は「おはようございます」の元気な声で挨拶の後、トーストを焼いたりコーヒーを入れて朝食、食事の後片付けも各自で。その後は、室内に干していた洗濯ものを片付けたり、自分の部屋で過ごします。6時50分と8時20分に「行きます」と元気に挨拶して出発しました。

滝谷ホームは自立支援施設のため、仕事が休みの場合でも8時30分までには出発、買い物や映画を見るなどして過ごします。自宅に帰ってくつろぐ人もいます。

曜日によって、朝のゴミ出しがありますが、日曜日はありません。2人を見送ったあと、戸締りし、エアコン・湯沸かし器・カーペットの電源の確認などの後、8時半過ぎ、勤務を終えました。

（滝谷ホーム当番：藤田健一：福19）

滝谷ホームでは

寄り添いボランティア(有償)を

募集しています。〈75歳定年制〉

(滝谷ホーム責任者 岸本清)

【お問合せ先】グループわ理事 藤田健一

電話 078-743-8101

## ボランティアの心

### 子供たちから学ぶもの

私のボランティアのルーツらしきものをたぐってみると、国民学校(現在の小学校)の入学時に日本全土で叫ばれていた勤労奉仕、滅私報国、やがては「一億一心火の玉」となったの大合唱となり、74年前の昭和16年12月8日に始まった太平洋戦争に勝利するために授業よりも優先して国策としての強制労働であり、思想統制で、ボランティアとはまったく異質のものでした。

平成18年にカレッジを卒業して最初のボランティア活動はすぐ近くの、孫がお世話になった学校での学習支援。2年生と6年生の算数の授業で担任の先生の補助として児童1人1人と関わるものでした。その後、2、3の学校で課目、活動時間は異なりましたが、同じような活動を通しての児童との触れ合いが、後の戦争体験語り部活動に少なからず影響しているように感じます。現在、私は神戸市の小学校9校、中学校2校(平成27年度)で戦争体験「神戸大空襲を語る」と題して6人のメンバーと活動を始めて5年になります。児童生徒を前にして75年前の昭和20年6月5日にアメリカ空軍の空襲によって、神戸が火の海となり、罪なき人々が無残に焼



き殺されていった地獄絵を目のあたりにした1人として、平和の尊さと生きることがいかに素晴らしい事かを語り、次の世代に伝えて頂くことを期待しています。それぞれの語り部の真剣な体験談にかれらも真剣な眼差しで応えてくれます。そして素晴らしい感想文を毎年、寄せてくれます。冒頭にあるような時代を過ぎた私にとって、ボランティアの心をどのように持ち、どこに置いて活動すべきか自問自答しながら、これからも愚直に子供たちに関わりたと思っています。

仲良し学級(特別支援教育学級)で1年入学時から付き添ったS君が3月に卒業しました。見違えるほど立派な体格となり、先の音楽会では、最後列の高い所で立派に役目を果たして得意満面でした。週に1回、彼と会っていましたが、帰り際、彼の「もう帰るの」という言葉がやけに耳に残っています。

むかしあそび研究会での活動では涙を垂らしながら遊んだ子供のころを思い出しながら、幼な子と夢中になって遊んでいます。こうした活動は他のためにすることはさることながら、馬齢を重ねるたび、自分のためでもあると信念めいたものとなっています。仲間のみなさんと支え合いながら1日でも長く活動できたらと念じている今日このごろです。(渡辺 寛治・国10 戦争語り部チーム)

## 活動レポート

### ユニバーサルデザインフェア 〈わ〉本部、タンスの肥やし参加

ユニバーサルデザインフェアが3月20日(日曜日)にしあわせの村体育館で開かれ、グループ わ本部と環境部会のチームたんすの肥やし(藤本明美代表=生17)が参加しました。

本部の3人は妖怪ホイホイを担当。ブースで長さ3.4メートルの専用台と妖怪ボックスを机の上にセットします。スタッフが妖怪ホイホイの顔をした楕円形の板をゴムで引っ張って滑らせます。妖怪ボッ



クスの箱の前でスリッパを片手に待ち構える参加者が真上から打ち下ろし、ホイホイを射止めることが出来たら参加者が勝ちというゲーム。車いすの障害者、つえを突いたお年寄りも机の上なので楽に参加できます。3歳くらいの幼い子もお兄ちゃんに負けずに夢中になってスリッパを振り回していました。

たんすの肥やしの7人は午後2時20分からステージでのファッションショーに出演。和服をリメイクしたスカートやワンピースをまとい、花道を華やかに歩きました。昨年秋のいきいきシニアフェアに続いての出演で少し慣れて堂々とした姿に見えました。神戸市では、年齢、性別、文化、国籍、障害など個性や違いを越えて、すべて



の人が持てる力を発揮し支え合うユニバーサル社会の実現に取り組んでおり、このフェアはその一環。高齢者疑似体験、福祉用具の展示、作業所の作品販売など39のブースとステージで繰り広げました。

(広報 藤田健一)

### 国際部会 英語点字グループ ミャンマーの盲学校を訪ねて

本年2月に初めてミャンマーを訪問する機会を得ました。熱心な仏教徒の国と言うこと以外は、ミャンマーは私にとって未知の存在でしたが、英語点字グループとの繋がりは永く、今までにも数多くの児童向け英語点字図書を寄贈してきました。

私と点字との出会いはシルバーカレッジに入学してからで、カレッジ卒業後も点訳活動を始め、一度是非、寄贈先のミャンマーに行ってみたく思っていたところにタイミングよくNPO神戸ミャンマー皆好会からのお誘いがあり、漸く訪問が実現したわけです。今回は「アウン・サン・スー・チー物語」を含め17巻の点訳本をヤンゴンにあるキリスト教系盲学校に持参しました。

この盲学校には2004年9期生のグループ学習にて訪問して以来、12年間に10回目の訪問になる記念すべき年でもあり、盲学校側から長期の活動に対して感謝状を頂戴しました。



ミャンマーではビタミン不足から幼児期に失明する子供が多いとのことですが、学校内の見学で生徒たちが熱心に勉強している姿に感動を覚えました。今後も点訳活動を始め、アジアの貧しい国々の目の見えない子供たちを少しでも支援できたらと思います。

(吉本清二 健福16期)

### 里山和楽会のかがやきの森 全国重要里地里山500選に選定

里山和楽会が過去9年間、熱心に手入れしている神戸市北区のかがやきの森東地区が、2015年12月に環境省の全国重要里地里山500選に選ばれました。環境省の選定基準は、生物多様性を守る観点から①多様で優れた二次的自然環境を有する②多様な野生動植物が生息するなどです。

道満代表は「地道な活動が国にも高く評価され、うれしい。仲間もこれまでの苦勞が報われ、大変喜んでい」と話していました。

### 中央区会 軽度障害者の歩行訓練 「神戸育成会、

筒井の宮作業所」での軽度障害者の歩行訓練の支援を2月16日に行いました。



この作業所ではマジックも月1回行っています。

**親睦ボーリング大会** 親睦行事として、毎年2~3回パターゴルフやボーリング大会をしており、毎月、第1土曜に開催している定例会議の後の2月6日に17人参加しボーリング大会を楽しみました。

### 垂水区会 多聞ひまわり幼稚園 もちつき大会支援

12月15日に、多聞ひまわり幼稚園でのもちつき大会を4人で支援しました。餅つき後、約1時間、年少組と年長組の2クラスに2人ずつに分かれて“孫”達とつきたてのモチを味わう楽しい時間をもちました。

### 多聞ひまわり幼稚園 生活発表会!

2月18日に園児による「生活発表会」に招待されました。園児が「きりんさん」「うさぎさん」を一生懸命に演じる様子は微笑ましく、たくさんの元気をもらいました。



また1月19日には植栽ボランティア終了後に園児とコマ回しなどで遊び、童心に戻りました。

**グラウンドゴルフ大会** 2月14日9時から2時間半、昨夜の雨が上がった舞子苔谷公園の舞子台ふれあい市民公園に32人が集まり、元気にグラウンドゴルフを楽しみました。ホールインワンが17も出て、その都度大きな歓声が上がっていました。

### 西区会 春の親睦「垂水まちなか散策」

3月16日午前9時30分に垂水駅東広場に15人が集合し、快晴の中を、海神社、遊女塚、五色塚古墳、孫文記念館、舞子海上プロムナードなどの名所・旧跡を、垂水観光ボランティアガイドの案内で楽しくのんびりと散策しました。

ティオ舞子の海彩園で楽しく昼食をとり、解散しました。



# カレッジだより



## 20期生337人が巣立つ

第20期生の卒業式が3月22日、カレッジホールで行われ337人が巣立ちました。服部祥子学長から各コース・専攻の代表者に卒業証書が授与されたあと、来賓の福本富夫・神戸市保健福祉局高齢福祉部部长と在校生代表・倉本敏明（園芸21）さんの祝辞があり、卒業生代表・池田哲也（園芸）さんが謝辞を述べました。グループわからは小畑理事長が出席しました。このあと、参加者全員で校歌を歌って終了。



卒業証書は、各教室で講師から手渡されました。コース別の卒業生は健福61人、国際81人、生環49人、美工34人、音文34人、園芸39人、食文39人でした。卒業生からは、ジェットタオル4台が贈呈されました。

## 23期生の入学式

第23期生419人の入学式が、4月7日午前10時30分からカレッジホールで行われました。



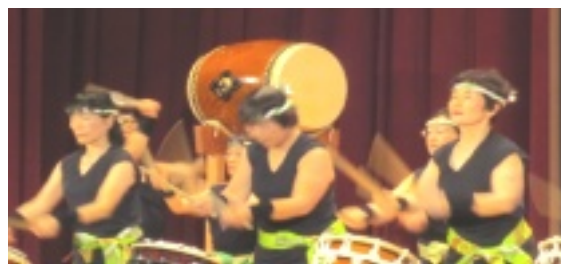
服部祥子学長は、「スクールのモットーは、再び学んで他のためにですが、若い人の学びとは違って、シニア世代の学びは、主体的に自分らしさを探求することであり、ボランティア活動を通じて“共生”社会を目指し、より豊かな社会を実現する事ではないでしょうか！」と激励しました。

コース別入学者は健福82、国際98、生環87、美工36、音文40、園芸37、食文39人。新入生代表の市恵子（国際）さんは「シルバーカレッジで新しい可能性を見出し『再び学んで他のために』を実践していきます」と決意を述べました。悪天候の中を、カレッジには9時30分ごろから期待に胸を膨らませて、新入生が続々と登校。ふれあいホールでは、各クラブが紹介パネルの前で、積極的にクラブの入部勧誘をしていました。グループ わもパネル展示を行い、災害救済募金を募ると共に、駐車場整理や記念写真の撮影を担当しました。

## グループ学習の合同発表会

27年度グループ学習合同発表会が3月2日、カレッジホールで開催され、卒業生や在学学生を含めて500人を超える人達が熱心に聞き入りました。

発表は午前10時から、14グループが映像などを使って順次発表しました。トップバッターは、和太鼓グループ合奏（音文）でした。



ふれあいホールでは美工の絵画・陶芸作品が展示されました。代表発表テーマは次の通りです。

【音文】①和太鼓グループ②パーカッショングループ③合唱（全員）【園芸】①鳴門金時・安納芋・紅はるかの栽培研究②コンパニオンプランツ サトイモの有無によるショウガの栽培【食文】①淡路島を食べつくそう②玉ねぎを使ったバランスの取れた料理【国際】①台湾との交流 つなごう絆②ミャンマーにおける草の根の農業支援【生環】①シカと人間の幸せな共存②日本の原風景である『かかし』の昔と今【健福】①認知を知り、目指そう活き活きライフ②地域の輪、学んで介護を生き生きと〜つどいの場の果たすべき役割について③最後の居場所（お墓）と終活どのように準備しますか

●カレッジ事務局人事 3月31日付【退任】志方洋一（総務リーダー）・佐々木信二（教務リーダー）  
・曾谷恵子（国際交流・協力コース） 4月1日付【新任】窪田和人（教務リーダー）・松嶋剛史（総務リーダー）・権田富士子（国際交流・協力コース）

（広報・藤田健一）

## グループわ 4月～8月のイベント

開催日時・場所	テーマ・内容と協力グループ	連絡先
4月29日(祝) 10時30分～12時 しあわせの村	<b>野鳥観察会</b> 協力;野鳥と自然観察会	グループ わ 078-743-8101
5月 3日(火) 10時30分～16時 しあわせの村 芝生広場	<b>わいわいストリート</b> 協力;むかしあそび研究会、木工グループ うらしまたろう、ケナフの会、<わ>本部	こうべ市民福祉振興協会 078-743-8092
5月3日(火)～8日(日) 10時～15時 水の科学博物館	<b>春のイベント「和(わ)で遊ぼう」</b> 協力;おはなし糸車、わらい届け隊 むかしあそび研究会、SCマジッククラブ、うらしまたろう	神戸市水の科学博物館 078-351-4488
5月22日(日) 7月17日(日) しあわせの村の里山	<b>カブトムシの生育観察をしてみよう</b> 協力; 花実の森プロジェクト	グループ わ 078-743-8101
6月 8日(水) 会員親睦	<b>春の森林浴ウォーキング</b> 協力;森の仲間	グループ わ 078-743-8101
7月30日(土) 15時30分～18時30分 しあわせの村 芝生広場	<b>しあわせの村まつり</b>	こうべ市民福祉振興協会 078-743-8092
8月7日(日) 午前 午後 野外活動センター	<b>夏休み昆虫採集と標本づくり教室</b>	グループ わ 078-743-8101
8月2日(火)～14日(日) 10時～15時 水の科学博物館	<b>夏のイベント「和(わ)で遊ぼう」</b>	神戸市水の科学博物館 078-351-4488
8月21日(日) 10時～12時 13時～15時 しあわせの村 研修館	<b>夏休み工作塾</b>	こうべ市民福祉振興協会 078-743-8092

### 27年度グループわの活動

- 【4月】カレッジ入学式(6日) ぎゅらりーわ70号発行 パソコン講座スタート(人材支援センター) 通年夢基金PJ花実の森カブトムシ生育観察(25日)
- 【5月】わいわいストリート(5日芝生広場) 和で遊ぼう(2～6日水の科学博物館イベント協力) 第12回定期総会(23日小畑執行部スタート) 第6回功労者表彰(個人2、団体1) 交歓会
- 【6月】春の森林浴ウォーキング(1日道場) カレッジ地域交流会(23～25日)で<わ>の4人が講演 夢基金PJ花実の森カブトムシの生育観察(13日サナギ)
- 【7月】第6次東北支援チーム9名派遣(2～6日) しあわせの村なつまつり(25日イベント協力) 夢基金PJ花実の森カブトムシの生育観察(13日成虫) 学習支援者の集い(24日体験報告会) ぎゅらりーわ71号発行
- 【8月】夏休み昆虫採集(1～2日) 和で遊ぼう(4～16日水の科学博物館イベント協力) しあわせの村夏休み工作塾(9日イベント協力)

- 【9月】神戸市社会福祉協議会より理事長感謝状をSCハイアonzとKSC手話同好会が受賞 親睦ローンボウル大会(しあわせの村) 夢基金PJザリガニ釣りや野鳥観察会
- 【10月】親睦ペタソク大会(しあわせの村球技場) 親睦グラウンドゴルフ大会(しあわせの村) 高齢社会フォーラムで内閣府からエイズ賞・社会参加活動章を混声合唱団コーロKSCが受章。 夢基金PJケナフの和紙つくりと竹の炭焼き体験 ぎゅらりーわ72号発行
- 【11月】第6次東北交流報告会 親睦秋の森林浴ウォーキング(宝塚中山寺) 学習支援者の集い講演会 いきいきシニアフェア(イベント協力) 夢基金PJXmasリースを作ろう
- 【12月】KSCオープンキャンパス学内案内協力
- 【1月】ジョイラックデー出前講座 防災気象情報 ぎゅらりーわ73号発行
- 【2月】28年度KSC入学願書受付(委託業務)

## WAからのお知らせ



### 〈わ〉の会員総数1,383人に

3月31日現在、新しい仲間を迎え、会員登録者は計1,383人になりました。

新入会員は、193人で、コース別では、福祉45人、国際37人、生環42人、美工3人、音文33人、園芸10人、食文18人、一般5人です。

皆さまのご協力により、会員総数は64人増加しました。年会費は1人1,500円です。

### 総会は5月21日 午後は舞台発表他

グループわは、27年度総会を5月21日（土）にカレッジホールで開催します。

午前10時から総会。功労会員の表彰式があり、昼食をはさんで、12時30分からパワーポイントによる各区会・部会の活動紹介を行った後に、文化部会・福祉部会・環境部会の12サークルによる舞台発表を予定しています。どうぞお楽しみに…。

総会資料は、「ぎゅらりーわ」4月号（74号）に同封しています。出欠のご返事は、昼食の弁当注文の関係で5月13日（金）までをお願いします。

### 国際部会新サークル誕生

**チャット・アジアの会**（佐々木隆彦代表・会員5人）国際20期のグループ学習で訪問したカンボジアの教育事情を知り、貧しいために学校に行けない子供たちが、小学校を卒業できるように「教育里親」として支援したり、就職できない子どもたちが職業訓練が受けられるように支援し、就職の斡旋をする活動をします。

「現在はシルバーカレッジの20期生を中心に支援を頂いておりましたが、この会がもっと楽しく生きがいを持って活動できるように21期生や22期生のみなさまにも仲間になって頂きたいと願っています。」と佐々木代表。

### 台湾交流支援の会（小高功代表・会員7人）

国際20期グループ学習のメンバーが活動を継続しようと結成したもので、グループ学習で交流した大学との交流や、先輩が交流した他の学校との交流再開に向けた支援活動を行います。

●廃部 銭太鼓同好会が廃部となりました。

### グループわ 本部のメールアドレス

広報・ホームページ wa\_gallery@wa-net.jp

### 自然観察会 晴れますように

つづき

最近、植物の分類体系に新しい手法が導入されています。それはDNA解析によるAPG分類体系です。今まで同じ仲間と思われていたものが、赤の他人であったり、今まで使われていた科（例えばカエデ科）がなくなるものまであり、戸惑ってしまいます。図鑑も新しい分類体系のものができつつありますが、入れ替わるのはまだまだ先のようです。

さて、私たちが活動している里山整備の一環として、四季折々の変化を感じてもらいたいと、花の咲く春と実をつける秋に自然観察会を行っています。五感を使っての観察なので、分類体系が変わっても、支障をきたすことはありません。一番の心配事は当日の天気です。早くから計画を立てるため、天気の予想が困難で、観察会当日が近づくにつれハラハラ、ドキドキの毎日です。雨天中止としていますが、その判断に迷うときがあり、スタッフだけが集合の時も何度か。この春も行いますが、どうか晴れますように。 谷口文子（里山和楽会、生13）

### 編集後記



★〈わ〉が受託した水の科学博物館での業務が4月1日からスタート。実地研修が2回しかなく、「務まるか」と不安なスタッフもおられたようです。でも、自分なりにマニュアルを書き換えたり、びっしりと注意事項を書き込んで準備する人も。科学館に来られ、実際の仕事を見学し、勉強された人もおられました。（永野知己）

★広報を担当して2年が過ぎました。ぎゅらりーわと共に、ホームページに会員の皆様のご活躍を出るだけ速く、そして多く掲載して、会員相互の情報交換が盛んになることに注力していきます。各部会・区会での活躍の様子が判る原稿、写真のご提供をよろしくお願いします。（岡本紘一）

★来年の7月22日で、グループわ設立20周年を迎えます。準備委員会メンバーの一人として、基本構想の検討に携わっています。より意義のある記念事業にするために、頑張ります。

（藤田健一）

代表・総務・学習支援 group\_wa@wa-net.jp

事業・パソコン教室：wa\_support@wa-net.jp

# 木工グループ2015年の活動



1月30日、可愛い保育園児が慣れない手つきで糸鋸・金槌・ポンドを使って、自動車・動物・昇り人形を作りました。

(神大はとぼっぽ保育園)

五月五日、しあわせの村で開催されたわいわいストリートブースに出展、子どもたちに糸鋸などを使い、自動車などの作り方を教えました。



六月十日、ボランティア活動報告会。現役生と共に製作した子供向け玩具・額・木彫り作品・小型家具・往年のスターの切り絵等数多く出品しました。

(シルバーカレッジ)



## トピックス



8月4日、〈わ〉の「ものづくりイベント」で50人近くの来場者がモビール、機関車、昇り人形等を現役生の協力を得て共に作りました。

(水の科学博物館)



8月9日、恒例の夏休み工作塾です。約400人の親子連れの来場者で館内は熱気一杯、完成した作品を満足して持って帰って頂きました。

(しあわせの村研修館)



十月十日(シルバーカレッジ)、天候にも恵まれて盛大に開催されました。木工グループのブースは開店前から行列が出来、盛況に終わりました。

(学園祭)



9月15日、デイサービスセンターで鳥のモビールを作ってもらいました。お孫さんに良い土産が出来たと喜んでいただきました。

(すまいるSUMA)

(写真・編集 木工グループ代表: 馬場偉夫・福16)